

カテゴリー	基本事項			開催期日	会場 (収容人数)	事業構成 主催	備考 概要・コメント
	区分	名称	概要				
C-1 UIA イベント	UIA会議	初日理事会	UIA理事会 UIA理事、役員等約50名出席	9月25日(日) 9:00-17:00	ホールD5 (200人)	UIA	
		第25回総会	UIA総会 UIA加盟協会代表団 約300名 +オブザーバー100名 計400名	9月29日(木) 9:00-17:00 9月30日(金) 9:00-17:00 10月1日(土) 9:00-13:00	ホールB7 (612人)	UIA	
		最終日理事会	UIA理事会 UIA理事、役員等 約50名出席	10月1日(土) 15:00-17:00	ホールD5 (612人)	UIA	
4	式典	開会式	①開会②主催者挨拶③歓迎挨拶④来賓挨拶 来場者数想定:5,000人	9月26日(月) 9:00-9:45	ホールA (5,012人)	UIA	
		閉会式&フェアウェル パーティ	閉会式 ①UIA会長スピーチ ②JOB会長スピーチ ③大会開催都市移譲式 (東京都→ダーバン市) ④東京宣言採択 フェアウェルパーティ:大会最後の夜に行われる さよならパーティ。1,000人程度(海外400人/国内 600人)参加を想定。	9月28日(水) 18:15-19:00 9月28日(水) 20:00-21:00	ホールA (5,012人) コレド室町	UIA/JOB	
6	基調講演	基調講演1	講師:クリスト	9月26日(月) 10:00-11:00	ホールA (5,012人)	UIA	
		基調講演2	講師:クリストフ・インゲンホーフェン	9月26日(月) 14:00-15:00	ホールA (5,012人)	UIA	
		基調講演3	講師:デイヴィッド・アジャイ	9月27日(火) 9:00-10:00	ホールA (5,012人)	UIA	
		基調講演4	講師:ウラディミール・スラベタ	9月27日(火) 13:00-14:00	ホールA (5,012人)	UIA	
		基調講演5	講師:ジグメ・ティンレー	9月28日(水) 13:00-14:00	ホールA (5,012人)	UIA	
		基調講演6	講師:榎 文彦	9月28日(水) 17:00-18:00	ホールA (5,012人)	UIA	
12	UIA 委員会	委員会1 PPC		9月26日(月) 11:00-14:00		UIA	プログラムはUIA委員会の 企画
		委員会1 教育		9月28日(水) 10:00-13:00		UIA	
		委員会3 コンペ		なし		UIA	
		委員会4 CPD		9月26日(月) 15:00-16:00		UIA	
16	UIA ワーク プログラ ム	Architecture for a sustainable Future(Reg.4)		9月26日(月) 11:00-14:00		UIA	UIAの委員会、WPの企画による。 ホールD7、ホールD5、G402、G409の各2時間。 ・プログラムはUIAの常設 WP(Working Program)の 企画 ・興味のあるWPへの参画 を期待 ・7月の調整会議時に各 WPの主査が来日するの で、その時点までに参画 希望は表明を期待 ・東京大会1回限りの協力 ではなく、大会後の継続 参加を前提とする
		Architecture for all:すべ てにわたる建築		9月26日(月) 15:00-19:00		UIA	
		Architecture and Children:建築と子ども①		9月27日(火) 10:00-11:00		UIA	
		Architecture and Children:建築と子ども②		9月27日(火) 11:15-13:15		UIA	
		Action without Borders: 地域を越えた活動		9月27日(火) 15:15-19:15		UIA	
		Public Health:公衆衛生		9月28日(水) 10:00-13:00		UIA	
		21st Century Heritages Student Internet Competition		9月26日(月) 11:00-13:00	ホールD7 (180人) ホールD5 (200人)	UIA	
		Habitat:ハビタ(Reg.1)		9月26日(月) 15:15-16:00	G402 (100人) G409 (132人)	UIA	
		Tourism:ツーリズム		9月26日(月) 16:15-17:45		UIA	
		CIMES(International)		9月26日(月) 18:00-20:00		UIA	
		Renewable Energy Sources:再生可能エネル ギー源		9月27日(火) 9:00-12:00		UIA	
		Educational and Cultural Spaces:文化的・教育的 空間		9月28日(水) 10:00-12:00		UIA	
		Heritage:遺産(Reg.2)		9月27日(火) 12:15-13:15		UIA	
		Heritage:遺産(Reg.4)		9月27日(火) 14:00-14:30		UIA	
Spiritual Places:宗教的 空間		9月27日(火) 17:00-19:00		UIA			
31	UIA メンバ ー	Architecture for a sustainable Future:持続 可能な未来のための建築 (Reg.2)		9月28日(水) 10:00-12:00		UIA	
		Heritage:遺産(Reg.3)		9月28日(水) 15:00-17:00		UIA	
33	UIA メンバ ー	Lebanon		9月28日(水) 17:15-18:00	ホールD5 (200人)	UIA	

カテゴリー	基本事項			開催期日	会場 (収容人数)	事業構成 主催	備考 概要・コメント
	区分	名称	概要				
34	協会	Region 2	UIA各国のプレゼンテーション	9月28日(水) 15:00-17:00	ホールD7 (180人)	UIA	
35		UIA+Partners, Regional Organizations		9月27日(火) 17:15-19:15	G402 (100人)	UIA	
36		Israel		9月26日(月) 17:00-19:00	G402 (100人)	UIA	
37		USA 3		9月27日(火) 10:00-13:30	G402 (100人)	UIA	
38		USA SbyD		9月27日(火) 15:00-17:00	G402 (100人)	UIA	
39		Tunisia		9月28日(水) 14:00-15:00	G402 (100人)	UIA	
40		Region 5		9月28日(水) 15:15-15:30	G402 (100人)	UIA	
41		USA 1, 2, 4		9月26日(月) 11:00-14:00	G409 (132人)	UIA	
42		Korea		9月26日(月) 15:00-18:00	G409 (132人)	UIA	
43		Chad		9月26日(月) 18:15-18:45	G409 (132人)	UIA	
44		Saudi Arabia		9月26日(月) 19:00-19:30	G409 (132人)	UIA	
45		Greece		9月27日(火) 10:00-12:00	G409 (132人)	UIA	
46		Russia		9月27日(火) 15:00-16:00	ホールC (1,500人)	UIA	
47	UIA セミナー・ 学術プロ グラム	デザイン発表1(地球・環境/Environment,情報・文化/Cultral Exchange,生命・生活/Life)	参加者による研究発表・作品発表の場を企画する。UIA2011東京大会では、論文発表のほかに建築デザイン発表を新たに行う。2010年8月1日～11月25日にアブストラクトを募集し、応募を終了。応募者は選考を経て口頭発表あるいはポスター発表に採用される。選ばれた応募者は会期中にテーマ別に口頭発表、ならびに意見交換会に出席、あるいはポスター発表をする。全ての論文・建築デザインはDVD-ROMに収録され、発表者等に配布される。	9月26日(月) 11:00-14:00 15:00-18:00 9月27日(火) 10:00-3:00 14:00-17:00 9月28日(水) 10:00-13:00 14:00-17:00	ホールB5(1) (480/210)	JOB	
48		デザイン(論文)発表2(地球・環境/Environment,情報・文化/Cultral Exchange,生命・生活/Life)			ホールB5(2) (480/210)		
49		論文発表1(地球・環境/Environment,情報・文化/Cultral Exchange,生命・生活/Life)			G510 (132人)		
50		論文発表2(地球・環境/Environment,情報・文化/Cultral Exchange,生命・生活/Life)			G502 (132人)		
51		ポスターセッション(地球・環境/Environment,情報・文化/Cultral Exchange,生命・生活/Life)			ホールB5 ロビー他		
52	コンフェ レンス・展 示	UIA活動展示	UIA各委員会・WP・加盟協会の企画による展示。UIA WP展示。UIA National Section 展示。ゴールドメダル受賞作品展示。次期開催国展示。2017年大会誘致都市展示。加盟協会の企画による展示	9月26日(月) ～28日(水)	展示ホール (B1) ホールB7 (1,400㎡)	UIA	
53		学生コンペティション作品展示	大会メインテーマ「Design2050」に沿った課題で実施する世界の建築を学ぶ学生による国際建築設計アイデアコンペティションである。課題(仮)「2050年の建築・都市のあり方をデザインしよう」日本の首都「東京」の60キロ圏にあるつくば市、土浦市、稲敷市の3地域もしくは3地域全てを対象とする。	9月26日(月) ～28日(水)	作品展示 ホールD5 ホワイエ	JOB	参加学生達との交流もあり/登録料 ¥4,000.-程度
54		学生コンペティション入賞作品プレゼンテーション	入選者をあつめて、本人によるプレゼンテーション 1人約5分、審査員との質疑3分として10名で80分。 審査講評20分、として100分。 結果発表は、同日夜の表彰式で行う。	9月27日(火) 入選者プレゼンテーション 12:00-18:00 表彰式18:00-19:00	プレゼンテーション ホールD7 表彰式 ホールA	JOB	
55	社交プロ グラム	ウエルカムパーティー	開会式前日のレセプション。翌日からの大会を盛り上げる目的と「ようこそ日本へ」という歓迎の意を表する場とする。2,000-3,000人規模 17:30会場、18:00催し開始、式典19:00-20:00	9月25日(日) 17:30-20:00	国立代々木競技場/第一体育館(4,002㎡/固定席9,167)	JOB	
56		表彰式(+ゴールドメダル講演)	表彰式は建築家を含め著名人が対象になることから、UIA大会参加者だけでなく一般公開で行う。表彰の順序は以下の通り。 1)UIAゴールドメダル(メインの対象) 2)オーギュスト・ペレ賞 3)サー・バトリック・アバクロンビー賞 4)ジャン・チュミ賞 5)サー・ロバート・マシュー賞 6)ジャンカルロ・イウス賞 7)UIA学生コンペ 8)ゴールデンキューブ賞	9月27日(火) 表彰式 18:00-18:40 ゴールドメダル講演 18:40-19:00	ホールA (5,012人)	UIA/JOB	
57	建材・製品見本市	Home & Building Show	建材見本市	9月28日(水) ～30日(金)	東京ビッグサイト	日本能率協会/JOB	

カテゴリー	基本事項			開催期日	会場 (収容人数)	事業構成 主催	備考 概要・コメント
	区分	名称	概要				
58		エコビルド	環境関係建材見本市	9月26日(月) ～28日(水)	展示ホール (4,000㎡)	IBEC/日刊日本工業新聞/JOB	
59	C-2 JOB イベント	テーマセッション	1990年代以降、経済のグローバル化と情報インフラの実装は都市空間をドラスティックに再構成しつつあるが、人口は増大し、富裕層と貧困層、都市内外での格差は広がり、エネルギー消費量も増加を続けている。そこで本セッションでは情報化によって得られた知見や技術を活かし、限られたリソースを再分配し、持続可能な社会を設計するための方法論を討議する。	9月26日(月) 11:30-13:30	ホールA (5,012人)	JOB	
60		テーマセッション2: 「City2.0 of Tomorrow」 明日の情報都市	いかに人間の身体を包み込み、周囲との親和力を持った環境をつくり出すことができるのか、そしてその身近な環境への視座が現在の大きな課題である地球環境にどのようにつながっていくのか。身体と周辺環境との接点となる「表層」に注目し、身近な環境を制御するデバイスとしての建築の可能性について、衣服やランドスケープなど様々の分野の専門家を交えて考えてみたい。	9月26日(月) 15:30-17:30	ホールA (5,012人)	JOB	
61		テーマセッション3: 「Towards a New Environment」環境をめざして	いかに人間の身体を包み込み、周囲との親和力を持った環境をつくり出すことができるのか、そしてその身近な環境への視座が現在の大きな課題である地球環境にどのようにつながっていくのか。身体と周辺環境との接点となる「表層」に注目し、身近な環境を制御するデバイスとしての建築の可能性について、衣服やランドスケープなど様々の分野の専門家を交えて考えてみたい。	9月27日(火) 10:30-12:30	ホールA (5,012人)	JOB	
62		テーマセッション4: 「Notes on the Synthesis of Life」 生命の合成に関するノート	自然と生命は古くから創造力の源泉であり、私たちの人工世界の母胎であった。現代の先端技術がいかにその神秘に肉薄し、その知見がいかに建築、アート、デザインに影響しているかを考える。パネリストはそれぞれ素材、構造、気象の専門家であり、それぞれの分野からみた自然の姿を語り合う(地域バランスを考え、残り1名を南米・北米から選定中)。	9月28日(水) 10:30-12:30	ホールA (5,012人)	JOB	
63		テーマセッション 5: 「The Hope and Life of Great World Cities」 世界大都市の生と志	グローバル経済の進展は、地域の自律経済圏を侵食し、そこで密接に関わりあっていた経済・生活・居住の連関を容赦なく解体する。先進国におけるゲーテッドコミュニティとホームレスといった二極問題の先鋭化、発展途上国におけるスラムや難民といった住む権利の略奪状態の恒常化などである。本セッションでは、そうした課題に真摯に向き合いつつ、住まうことの希望をどのように居住地デザインに込めることが出来るのか。その可能性について討議する。	9月28日(水) 14:30-16:30	ホールA (5,012人)	JOB	
64		プレゼンテーション	特別講演1	講師: SANAA(妹島和世・西沢立衛)	9月27日(火) 14:30-15:30	ホールA (5,012人)	JOB
65			特別講演2	講師: 仇 保興	9月28日(水) 9:00-10:00	ホールA (5,012人)	JOB
66		公開イベント	中高生に語る/建築とは何か	講師: 安藤忠雄	9月26日(月) 18:00-21:00	ホールA (5,012人)	未定
67		企画展示	大学キャンパスと建築家	時代や地域、テーマなどをいくつかに切り取って各大学の研究室がコーディネートするテーマ展示と、シンポジウム、関連講演会、関連ツアーなどを連動させたセットを企画する	9月23日(金) ～10月2日(日)	各大学	JOB プロフェッサーアーキテクト 大学研究室(国内20～30)ARCASIAの17カ国他 各国大学の参加呼びかけ
68		ユースジャンボリー	ユースジャンボリー (作業、展示、講評会)	大会メインテーマの「Design2050」に沿った課題で、学生及び若手建築家を対象とした国際建築ワークショップを実施する。 2011年に建築を学ぶ学生と若手建築家は2050年を担う人材となる。彼らを対象としたワークショップを行うことで、国際的な交流の機会とすると同時に、2050年を考える契機とする。	2011年3月募集開始 8月募集〆切 23-24作業 25日講評会 @OMYC 26日展示	国立オリンピック記念青少年総合センター	JOB 学生運営委員を組織
69			ユースジャンボリー (展示、発表)		27日-28日 展示・講評会 28日(水) 発表	作品展示: TIFロビーギャラリー 作品発表: コレド室町	
70	C-3 関連イベント	講演会、シンポジウム	BCS建築セミナー 「日本の建築」	(以下の講演とする) プロジェクト紹介: 設計施工、コラボレーションなど 技術: 施工技術、環境技術・耐震技術など まちづくり 伝統建築 内容は2部構成	9月26日(月) 15:00-19:00	ホールC (1,500人)	(社)建築業協会
71			「2050年の建築家」を考える [ARCHITECT 2050] Symposium	日本の建築生産システムにおける建築家職能について論じ合い、日本型の建築生産システム、日本型の次世代に向けた建築家のあり方を示し、それに向けた法制度の整備が進む状況になっていることを世界に向けて発信する。 本大会でのシンポジウムに向けて、事前に国内で同一テーマの連続シンポジウムを実施することにより、建築家職能を考える機運を盛り上げていく。	9月27日(火) 9:00-12:00	ホールC (1,500人)	「2050年の建築家」を考えるシンポジウム実行委員会 (JIA、赤羽)

カテゴリー	基本事項			開催期日	会場 (収容人数)	事業構成 主催	備考 概要・コメント
	区分	名称	概要				
72		グローバル建築を考える (ヴァナキュラーの変換としての現代建築)	情報化社会に伴ない、建築界における地球化が進む中、世界中、同じような街並や建築が生みだされている。そこでヴァナキュラー(地域性・土着性)を再認識し、国や地域のアイデンティティが感じられる都市や建築を創造しようという捉え方がある。すなわち、地球化というグローバルと地域性というローカルの意味を併せ持つグローバル建築である。	9月27日(火) 13:00-17:00	TIF D1 (110人)	JIA関東甲信越支部デザイン部会	
73		世界住宅会議	建築家の作品展、世界の住宅パネル展、子供向けワークショップを行い、1人でも多くの一般の方に住宅、街並みの豊かさ、楽しさ、魅力を感じとって頂きたいです。同時に建築家の職能を知って頂きたいと考えています。また企画、検討、実施を通して、日本全国や海外の住宅建築家とのネットワーク構築に繋げていきたいと思ひます。	9月22日(木) ～10月3日(月)	新宿パークタワー各ギャラリー	JIA関東甲信越支部住宅部会	
74		シンポジウム「被爆100周年の都市広島を考える」@広島	恒久の平和を誠実に実現しようとする理想を象徴する都市づくりのために建築家は何をなすべきなのか。 広島市の都市的骨格を作りだした丹下健三による平和記念公園の計画やそれに伴う都市軸の意味を考える。 シンポジウムに際して都心の構成についての専門的提案を行う。	9月29日(木)シンポジウム 9月30日(金)ツアー 9月29日-10月13日(木)展示会「都市広島の啓示」	広島市国際会議ホール(ひまわり)	UIA2011東京大会記念広島イベント実行委員会	併設して、1日観光ツアー企画あり
75		「東京の建築のいま」をテーマにしたパネルディスカッション	日本の著名な建築家である丹下健三氏が設計した東京都庁舎(都民ホール)を舞台に、長い歴史を持つ東京建築賞の受賞者及び審査員による「東京の建築のいま」をテーマにしたパネルディスカッションを開催し、あわせて、東京都の協力により東京都庁舎を建築設計の観点から見学するツアーを実施します。	9月28日(水)	都民ホール	日事連	
76		災害における専門家の国際的連携と支援活動	地震を始めとする自然災害について各国の実情を共有し、専門家としてどのように行動してゆくかという課題に取り組む。私達は兵庫、新潟、石川、福岡等の災害におけるJIAの経験を伝えるとともに、さまざまな専門家の国際的連携のありかたや、支援活動の方法と問題点を明らかにして災害への備えとしたい。	9月27日(火) 9:00-12:00	TIF D1 (110人)	JIA災害対策委員会	UIA(WP6)と連携
77	展示・展覧会	「1万人の世界建築家」展	UIA2011東京大会に参加する建築家をはじめとし、世界各国の建築家による作品展示パネル展。TIFガラス面に展示(約2500枚展示を予定)するほか、パネル化されなかった作品についてはWEBを通してプロジェクター投影を行うなどして一万人による建築家展を目指す。	9月26日(月)～	TIFガラス及び行幸通り地下ギャラリー	一万人の世界建築家展実行委員会(JIA)	「四国建築家展」「沖縄建築家展」併設
78		東京を創る	“東京を創る”というメインテーマを掲げ、東京という都市におけるさまざまな建築にかかわる活動を紹介し、現状分析と将来(2050年一大会テーマ)への提案を魅力的に展示紹介し、それらがすべて設計事務所、ゼネコン、工務店、都市計画家、行政者等々多様な立場での“建築士”の所産であることを内外に伝えるものとする。①“住宅で東京を創る”展:701号室内。東京という都市がさまざまな形式の住宅によって構成されていること、その“現状のありかた”をマクロに分析し多様なあり方と問題点を明らかにするとともに、住宅建築賞や住宅課題賞の受賞作を通じてミクロな対応の系譜を紹介し、それらを受けて2050に向けてマクロとミクロをつないでいく可能性について展示提案。②“東京を創る”展:701号室前ラウンジ “東京という都市にどう寄与できるか”を視点に、2050年に向けて建築士(組織設計事務所、ゼネコン、個人建築家、都市計画家、木造建築士、行政者等をバランスよく推薦)がどうかかわってきたかどうかわれるかを表現する模型を展示し、造環境住宅から超高層、複合街区計画にいたるまでさまざまな活動における東京への挑戦を伝えるとともにその活動がすべてさまざまな職域の建築士によってすすめられていることを明らかにする。	9月26日(月)～28日(水)	G棟 7階 701号室 ラウンジ	東京建築士会	
79		アーキエリニング・デザイン展(AND)展	建築(アーキテクチャー)の設計・生産を支えるエンジニアリング・デザインをアーキエリニング・デザイン(AND)と呼称し、ArtとArchitectureとEngineeringの関係を見据え、その歴史的発展過程から未来の建築へ向けての示唆と展望を意図したもの。展示会の主役は「模型」。世界遺産建築から最先端の建築まで、その仕組みを解剖し、子どもから建築の専門家まで、多くの市民が楽しみながら「未来の建築世界遺産」を考えます。	9月23日(金)～10月2日(日)	丸ビル マルキューブ(予定) 建築会館	日本建築学会	
80		コミュニティ・アーキテクトシンポジウム	建築士集団とその統括建築士による各地域での活動成果を事例的に検証する。統括建築士に焦点を合わせ、それを国際的名称として“コミュニティ・アーキテクト”と呼称し、今日的意義を検証する。我が国に求められる新しい建築士像としての“コミュニティ・アーキテクト”のあるべき姿を参加者全体で明らかにし、共有したい。	9月27日(火) 13:00-18:00	ホールC	日本建築士会連合会	

カテゴリー	基本事項			開催期日	会場 (収容人数)	事業構成 主催	備考 概要・コメント
	区分	名称	概要				
81		「北海道建築展inバルセロナ」報告展示 @北海道or東京	2010年10月に「北海道建築展inバルセロナ」展を、スペインカタルニア州のバルセロナ建築協会の協力を得て、ガウディ設計のグエル別邸において開催し、UIA2011東京大会のアピールと同大会への招致を、カタルニアの建築家へ呼びかけた。この「バルセロナ建築展in札幌」は、北海道とカタルニア州との文化交流の一助になる事を旨として上記の報告展示をUIA2011東京大会開催期間と合わせて北海道で行う企画である。	未定	札幌又は東京	JIA「北海道建築展 in バルセロナ」実行委員会	
	82	UIAゴールデンキューブ賞	UIAワークプログラム Architecture and Children は、小中高校の生徒を対象とした建築・都市教育活動の中から優れたプログラムにUIAゴールデン・キューブ賞を贈る。授賞したプログラムは、大会公式行事において賞が贈られ、その展示パネルが公開される。また、国内の応募プログラムおよびUIAに集められた一部のパネルは、9月27日から3日間ジャパン・ホームショー晴海ビッグサイト会場に展示される。	9月28日(水)～30日(金)	1.TIF 3×5m ブース3区画、 2.有明国際展示場東ホール240㎡ 東京ビッグサイト有明国際展示場東ホール	JIAゴールデンキューブ賞実行委員会	この賞の前段階として、日本国内の優れた建築・都市教育活動をJIAの主催による選考会(2011年1月)において選びJIAゴールデンキューブ賞を贈る。募集要項は9月3日にリリース、JIAホームページにも掲載中。
83	公開・交流イベント	U-40企画	日本の若手建築家の現状と活動を発表する場としての企画。 JIA各支部で事前協議した内容をベースにパネルディスカッション(パネラー数名) + 事前に行うワークショップなどの内容を一部パネル展示。	9月27日(火) 18:00～21:00	TIF D1 (110人)	U-40実行委員会 (JIA)	
	84	open! Architecture	日頃あまり見ることのできない建築物を大規模に一斉公開し、これまで知られることのなかった日本の優れた芸術文化財産である建築物の魅力を再認識する市民参加型イベント。 ①建築公開 国内約100箇所の優れた建築を一斉公開。 ②建築めぐり 解説つき徒歩見学で、約20回開催。 ③オープンハウス 建築家が自作を紹介する形式で10箇所程度開催。 ④名建築を舞台にした音楽演奏 江戸桜通り「2000人屋外演奏会」(出演: 声楽アカペラグループAura)他 ⑤建築写真展(写真家、堀内広治) 建築写真講座(同、下村純一) ⑥「日本橋100周年記念シンポジウム」(仮)の開催他	調整中	全国各地	open! architecture 実行委員会	
85		UIA千人茶会	上野の国立博物館、お茶室(5ヶ所)で会期中2日間に渡り、UIA大会参加者を対象に茶会を催す。	9月27日(火)・28日(水)	東京国立博物館	JIA東海支部	茶道にたしなみのある東京・近県在住者に協力依頼。TIF～国立博物館 間移動バスの準備をJOBに要請中
86		一万人の世界建築家展@仙台・東北建築家展	東京での一万人の建築家展を仙台でも開催する。特に東北在住建築家をよりクローズアップし、作品の写真や模型等を展示する。また第6回東北住宅大賞の公開審査会も同時開催し、仙台を訪れる海外からの参加者との交流の場とする。	一万人の世界建築家展 @仙台 9月28日(水)～10月2日(日)(9月30日を除く) 第6回JIA東北住宅大賞審査会:10月2日(日)	せんだいメディアテーク	JIA/JOB/UIA	
87	コンクール・コンペ	建築家のあかりコンペ 2011 展示+ファイナルプレゼンテーション+授賞式	JIA主催「建築家のあかりコンペ」第5回目(2011年度)を国際コンペとし、UIA東京大会でその展示・最終審査会と授賞式、懇親会を開催します。環境やDESIGN2050をメインテーマとし、LED利用の照明の未来を考えます。2部門構成とし、アイデア部門、プロダクト部門に分けて募集します。	9月26日(月)	G610	JIA(本部)コンペWG	大光電気 合同主催
	88	JIA全国学生卒業設計コンクール2011 (JIA National Graduate Awards 2011)	JIAの全国各支部・地域会から選抜された卒業設計の優秀作品を一堂に集め、公開審査によるコンクールとして、企画運営。今年度で第7回目。今年度はUIAを意識し、海外の建築家協会の協力を得、数カ国の学生賞のパネルを展示。日本の学生にも建築の国際化を意識させる。将来の建築家を目指す学生にとって重要なコンクールであり、また、JIAにとっては直接、学生や社会にリンクできる重要な企画として運営。コンクールは例年10月末の週末2日間、東京・新宿アイランドのアクアプラザにて作品を展示。初日は早朝より、多くの学生や一般来場者が見守る中、全国約600作品から選抜された優秀作品約60点について、8～9時間に及ぶ第1次から第3次までの厳粛な公開審査を行う。	9月23日(金):展示 9月24日(土):公開審査 9月25日(日):展示	丸の内周辺を希望	JIA全国学生卒業設計コンクール2011実行委員会	
89	C-4 外部イベント	展示 「TOKYO チェア・シティ」展	様々なデザインの原寸大の「チェア」を募集し、会場の内外に展示する。大会の雰囲気を街に溢れ出させるため、会場内から付近の路上や空き地、関連イベント会場付近など東京都内各所いたるところに分散展示する。	2011年9月23日(金)～10月2日(日)	丸の内仲通り等TIF周辺	JOB	組織のバックアップ必要

カテゴリー	基本事項			会場 (収容人数)	事業構成 主催	備考 概要・コメント	
	区分	名称	概要				
90		「Design 2050 “2050 EARTH CATALOG” Hall A」展	環境・情報・生命各テーマに関して、現在の英知の中から2050年の社会を想起させるヒントをCATALOGとして展示し、見る人たちが自らの想像力を働かせ、2050年を構想する展示とする。未来からのBACKCASTINGによって自分の姿を変えることが期待できる。	9月27日(火)～28日(水)	ロビー		
		「Design 2050 “2050 EARTH CATALOG” Galleria」展	環境・情報・生命の各テーマに対応して、住居、建築、都市に加えて森林、農業、漁業、産業界、医学、情報、子どもたち、エコレヅジなどのライフスタイルも加え、2050年の社会を想起するヒントの展示を行い、2011年時点での英知を総合的に集出し、総括を行う。参加者を中心に、現在と未来の環境についてクロストークを行う。	9月23日(金)～10月2日(日)	1Fガレリア (552㎡)	2050EARTH CATALOG実行委員会(仮称)	
		VISUALIZING ARCHITECTURAL DESIGN Exhibition 「インターナショナル建築イラストレーション展」	アメリカ、イギリス、オーストラリア、カナダ、中国、韓国、フィリピン、日本の建築イラストレーション団体、及び企業による、手描きイラストレーション、デジタルイラストレーション、アニメーション、等を含む建築ビジュアル作品の展示 出展作品予定数…200点～	9月10日(土)～10月2日(日)	ポーラ ミュージアム アネックス (ポーラ銀座ビル3階)	Visualizing Architectural Design Exhibition 実行委員会 代表…山田雅明(ASAI)	
		Green Culture of Asia: アルカシア展(Jarchitects Regional Council Asia)	1.アジアにおけるアルカシア加盟建築家協会によるサステナブル都市・建築への活動の紹介。 2.アルカシア(アジア建築家評議会)の沿革・活動などの紹介。	9月26日(月)～28日(水)	B7 または 展示ホール	ARCASIA	
		H.M. The King Bhumibol Adulyadej's Ingenuity in Sufficiency through Architectures Exhibition 「タイ国王建築展」	建築を通じた「足るを知る」理念から見る陛下の英知	9月25日(日)～28日(水)	相田みつを美術館(調整中)	ASA JIA実行委員会が協力	
		メタボリズム展	世界的に最も知られている日本の建築運動で様々な都市計画上の提案を行った事で知られるメタボリズム。その運動全体を概観する大規模な展覧会が森美術館で開催される。近年この運動を見直す機運が世界的に高まる中、本展覧会はこのような運動を包括的に展示するだけでなく、時代的にも内容的にもより広い視野の中におく事によって、従来のメタボリズム像を刷新することを目指すものです。	7月23日(金)～11月6日(日) 107日間(予定)	森美術館	森美術館 日経	TIFへ森美術館へ表参道ヒルズ?でシャトルバスを運行できるか検討中
		DOCOMOMO Japan 150 未来への遺産 Future and Legacy	UIA2011TOKYOの開催テーマ(Design2050)のテーマに添い、海外からの建築家や国内の建築の専門家をはじめとする一般市民にまで、日本のモダニズム建築の存在と其の魅力を伝え、未来への遺産として存続・継承する課題を検証する。DOCOMOMOはUIAの関連団体であり、UIA大会に欠くことのできない建築の歴史と文化に触れる展覧会となる。	9月23日(金)～10月2日(日)	丸の内行幸通り地下(予定)	docomomo japan 150選 展実行委員会	
		Girls meet Architecture- 東京建築ガールズ・コレクション50	建築を学ぶ女子学生たちを集めた展覧会。全国の建築女子学生を、コンペや課題作品等で選抜し、UIAの2050に合わせて、50名の展覧会を行う。合わせて、関連シンポジウム等を開催。	9月～10月 (1ヶ月程度)	秋葉原その他を検討、3331アーツ千代田その他を検討	フォーラム ジャパン部会 / 国土館大学・南泰裕	
		環境・設備デザイン賞 【第9回報告展示】	建築に於ける環境・設備技術の役割は一段とその重みをましており、建築のデザインに対して、設備機器や設備システムのデザインが大きく関与してきております。環境・設備デザイン賞は、建築設備分野において従来あまり意識されることのなかった「審美性」をはじめとして、「機能的」「経済性」「社会性」を加えた4つの評価軸により、総合的かつ客観的に評価し、優れた作品を顕彰しています。UIA2011東京大会において、2010年度(第9回)環境・設備デザイン賞の作品展示及び「最優秀賞」「優秀賞」のプレゼンを行うことにより、第10回以降の世界展開を視野に、優れた作品を広く社会に公開し、認知していただくことを趣旨とします。環境・設備デザイン賞が対象とする部門 Ⅰ. 設備器具・システムデザイン部門 Ⅱ. 建築・設備統合デザイン部門 Ⅲ. 環境デザイン部門	9月27日(火)	G610	(社)建築設備総合協会「環境・設備デザイン賞」実行委員会 委員長 石福昭 (社)建築設備総合協会名誉会長	
	「未来へ—日米女性建築家のパイオニアたちの肖像」展 (IAWA設立25周年を記念して)	IAWA(International Archive of Women in Architecture)設立25周年を記念して、19世紀以来の女性建築家の足跡を辿ることによって、空間創造において女性が参画することの意義を考える。環境共生社会の形成、建築分野における男女共同参画の推進などが期待される。IAWAは主としてアメリカの女性建築家の資料を中心に集めており、日本は、日本の女性建築家の資料を集めていることから、日米(IAWAとUIFA JAPON=国際女性建築家会議日本支部)で連携して展示を企画、実施する。	9月22日(木)～10月2日(日)のいずれか 最低3日間	丸の内周辺	UIFA JAPON+IAWA (会長松川淳子+委員長 Donna Dunay)		

カテゴリー	基本事項			開催期日	会場 (収容人数)	事業構成 主催	備考 概要・コメント
	区分	名称	概要				
100	公開イベント	無意識に教育する空間の可能性を探る体験型ワークショップ	建築とアートが融合した「線で作る立体空間」のデザイン、製作、組立のワークショップと完成した教育スペースを体験する子供の実演をもとに空間の教育力をフォーラム会場と箱根彫刻の森屋外美術館の2か所でディスカッションをする箱根彫刻の森「ネットの森」	9月26日(月)～28日(水)	フォーラム内、ミニスペース、箱根彫刻の森屋外美術館「ネットの森」地上広場A	実行委員会方式	
		公開イベント 地震国で建築寿命を2倍にする建築の医学 From New Design to Renew Design と建築の医学のセミナー方法	本イベントでは、「住まいの寿命」を2倍にする方法について伝えるとともに、新築及び耐震改修の実例を通して、耐震に関する知恵と知識を伝える。専門的な知識をわかりやすく市井に広める方法を各国の事例をもとにディスカッションする。地震国での住まいのあり方と21世紀の住まいのデザインの可能性を提示。BCS建築セミナー「日本の建築」の一環にする。	9月26日(月)	地上広場A	実行委員会方式	
102		Alternative Architecture Standard Summit 2011	世界中の建築界の教育の現場や設計の現場で使用されている建築設計資料集成。英語では、Architecture Standardという。日本では、日本建築学会が建築設計実務者の要望に即応する図を主体とした資料集の編纂を開始したのが1937年。その後、改訂を重ねるものの、建築設計実務に即した資料集であるがため、汎用性の低いが、実は、社会、経済、産業、娯楽、商業といった分野では欠かせないもつと日常生活の要求から生まれたビルディングタイプが掲載されることは少なかった。そこで、本企画では、2011年に日本で開催されるUIA2011の開催にあわせて、今やジャパンポップと世界中から称される、空間経済の視点から重要なパチンコホールやラブホテル、喫茶空間の視点から重要なマンガ喫茶や出会いカフェ、高効率で高品質な動植物を生産する畜産建築や養殖建築といった、いわば、世界中のArchitecture Standardに掲載されなかったが、しかし、その建築の目的に応じた独特な建築に至っている建築の数々について、その建築分野以外のトップランナーの招待講演も交えて、大いに論じる。イベントの最後には、The Declaration of Alternative Architecture Standardを盛大に行う。	9月の会期中で調整は可能。	TIF以外で検討(未定)	フォーラム ジャパン部会 /名古屋工業大学大学院・北川啓介	
103		Factor 4 City DESIGN WORKSHOP(低炭素社会を実現するための環境都市づくり)シンポジウム	環境価値を2倍に、環境負荷を2分の1に、すなわち係数4となることをターゲットとした次世代都市の提言。2010年11月に、東京ガス株式会社をスポンサー企業として、建築設計3社と建設会社5社の設計部が架空の都市における8つのエリアを取り上げて、2030年以降に実現を目指した都市像を具体的に描き出したものを土台とする。今回はUIA大会「DESIGN2050」のコンセプトにあわせて、「Factor 4 Continue」(仮)として再構成し、展示およびシンポジウムを開催する。	9月26日(月) 13:00-17:30 (準備は午前中、終了後懇親会予定)	日本橋 COREDO室町「日本橋三井ホール」	(仮称) 「Factor 4 Continue」(仮) 実行委員会	
104		アジアの持続可能な未来都市(仮題)	プログラム:開会挨拶、第1部(各プレゼン20分同時通訳付 日・中・英語)、世界人口の増加と都市集中化はアジアの都市にも変革をもたらしています。急激に変化するアジアの主要都市における「都市の魅力」「都市の競争力」「都市・観光」「都市と環境」など都市の未来像を街づくり、都市文化、建築、経済、行政、市民生活などの視点からプレゼンテーションします。プレゼンテーション(順不同):東京都知事(4月改選)、(大阪府 橋下徹知事)、上海直轄市 韓正市長、ソウル特別市 呉世勲市長、シンガポール 国家開発大臣、第2部(パネルディスカッション 90分):ナビゲーター 横山 禎徳(社会システムデザイナー)、アジアの主要都市の首長が直面する課題とヴィジョンについて意見を交わすと共に持続可能な都市、社会、コミュニティのあるべき姿を探ります。これを契機にアジアの各都市が連携し都市間の交流促進を図ることを目指します。	9月27日(火) 13:30-17:00	日本橋三井ホール 東京大会日本橋会場	UIA2011東京大会日本組織委員会	
105		シェルター学生コンペ2011ファイナルプレゼンテーション+授賞式	株式会社シェルターが主催する学生コンペ「シェルター学生コンペ2011」の最終審査会と授賞式、懇親会を開催。山形の木造集成材を用いた構造システムメーカーである株式会社シェルターが、UIA東京大会の主旨に賛同し、2011年の授賞イベントを大会会期中に開催、学生を集めて大会を盛り上げるとともに、主催企業の社会貢献も果たす。審査会、授賞式に先立ちRoland Schweizer氏による特別講演を行い、UIA2010東京大会の総合的テーマに沿う形で、イベントのアカデミックな側面を強化するとともに、木造建築の可能性を多いに啓蒙し、来るべき低炭素社会に向けた指針となるようなイベントとして本大会の活動を支援する。審査会では審査委員長(未定)審査員(元倉真琴氏、古谷誠章氏、トムヘネガン氏、中田千彦)に加えて、Roland Schweizerを特別審査員として迎え、コンペの国際的展開をさらに促すことにつとめる。	9月26日(月) (終日利用:午前準備、午後特別講演、審査、授賞式)	ホールD1	株式会社 シェルター (〒990-2473 山形県山形市松栄一丁目5-13 TEL:023-647-5200 FAX:023-647-5250)	

カテゴリー	基本事項			開催期日	会場 (収容人数)	事業構成 主催	備考 概要・コメント
	区分	名称	概要				
106 C-5 各種イベント	コンペ	第46回セントラル硝子国際建築設計競技	弊社では、昭和41年より建築設計のアイデアコンペを継続して主催しております。昭和50年の第10回からは広く海外にも門戸を広げ、「セントラル硝子国際建築設計競技」として作品を募集してまいりました。建築業界では「ガラコン」(ガラス・コンペ)の愛称で親しまれ、毎年多数の応募(2009年第44回応募数:744点)が集まる日本では草分け的な建築設計コンペです。審査員には初回より日本の建築界を代表する諸先生をお招きしており、設計課題も常にグローバルで自由な視点からタイムリーでユニークなテーマを提供し続けております。建築家を目指す学生諸氏、あるいは、すでに設計の第一線で活躍されている方々にも高い関心をいただいております。ますます国際化する建築業界において高い評価を得ております。	9月28日(水) 9:00-18:00	審査会 9:00-18:00: ホールC/ パーティ 18:00-20:00: G402	セントラル硝子株式会社	
	107	イベント	24時間建築系ラジオ @南洋堂書店	南洋堂書店4FのN+ギャラリーをスタジオとして、24時間「建築系ラジオ」というネットラジオの収録と配信を行う。様々なタイプの番組の収録とともに、本の紹介の番組を差し込み、同時にその場で書籍の販売やセールを行う。外国語での番組も収録し、特に外国人が日本の建築本について知ることができるようにする。スタジオに来てくれた人には、臨機応変に番組にも加わってもらい、特に外国人には東京の印象などについてもコメントを残してもらおう。	UIA東京大会開催中に2回ほど	南洋堂書店4F N+ギャラリー	建築系ラジオ、南洋堂書店
108			ケンチク映画祭	建築に関するドキュメンタリー映画などを特集上映。トークイベントなども行う。例えば、コールハースのポルドーの住宅を家政婦の視点で描いた『ハウスライフ』や、『スケッチ・オブ・フランク・ゲーリー』など。また建築家による作品のプレゼンテーション・ムービーにも映像としてクオリティの高いものがあるので、そうしたものも紹介。例えば、青木淳、伊東豊雄、渡辺誠など。ほかには、アーティストによる建築的な映像も加える。例えば、五島一浩、ゴードン・マッタ・クラークなど。	9月中旬～下旬	渋谷 uplink / アップリンク(ミニシアター系の映画を上映する施設、カフェなども併設)	五十嵐太郎 + 新井正晃
109	展示	日本建築写真家協会展	・日本建築写真家協会会員による建築写真展 ・「日本・建築・風土・環境」をテーマに文化的要素を含めた内容とする	9月24日(土) 11:00-10月2日(土) 17:00	丸の内(明治生命館1階)ギャラリー	小川泰介(日本建築写真家協会)	
		110	DAAS展	日本の建築アーカイブスとして整備を進めているDAASの展示。映像投影での紹介が中心となる。	9月25日(日) ～28日(水)	未定	DAAS事務局(武藤奈津子)
111		World Architecture Festival 2011 Preview in Japan	1. 展覧会:①WAFイベント/アワードのテーマ及びスキームの紹介、②2011年WAF AWARDS ショートリスト/ミネート作品のプレビュー(例年約250 ショートリスト作品)、③過去3年の日本からのWAF AWARDS応募作品の展示 2. ④ディスカッション 3. ⑤イブニングカクテルパーティー(夕方～夜)等	9月26日(月) ～29日(木)	未定	EMAP社(英国):メディアグループ	
112		Visions of the Metropolis	新たなメトロポリス像、そして成熟社会のアジアの大都市モデルとしての東京の未来像を大学の研究室12チームが提案する。	9月25日(日) ～10月1日(土)	丸ビル7階	東京都、フランス大使館、三菱地所、カルチュール・フランス	
113	ワークショップ	親子家づくりワークショップ @横浜	夏休みの親子向けのワークショップ。住教育活動の1つとして、ハウスクエア横浜 住まいの情報館およびモデルハウスを見学。見学を通して発見したおうちのお気に入りポイントを使っておうちのミニチュア制作ワークショップを行います。ワークショップを通して子どもの視点から住まいについて考える。	7月～8月を予定(全部で4回程度のワークショップを開催予定)	ハウスクエア横浜	日本住情報交流センター	